



2024年度 活動トピックス

「とこころ彩るところ」 フジフイルム スクエア 2025

90年間の歩みで守り育んだ、写真文化の歴史と未来をつなぎ、
国内外からの来館者、写真家の皆さまへ、笑顔を届けた1年。

2024年度 活動トピックス

写真展の開催本数80本、ご来館者数約39万人

創業以来、写真文化の発展に貢献してきた富士フィルムは、写真が持つ価値を伝える活動の一環として2007年にフジフィルム スクエアをオープンしました。みずみずしい感性を持つ若手写真家、写真史に名を刻む巨匠など、国内外の幅広い層の写真家の皆さまの作品を発表・公開しています。2024年度は80本の写真展を開催し、約39万人の方にご来館いただきました。開館以来、2024年度までに延べ1,800本以上の写真展を開催し、累計で850万人以上の方々に写真鑑賞の場として親しんでいただいています。

創立90周年を祝う、富士フィルムならではの写真展を開催

2024年、富士フィルムグループが創立90周年を迎えた節目として二つの大企画展を開催いたしました。一つは「フジフィルム・フォトコレクションII 世界の20世紀写真『人を撮る』」です。本コレクションのテーマは、「人を撮る」。人物写真は、写真術誕生における最大の動機であり、写真の原点であったとされています。20世紀の世界写真史に名を連ねる写真家20名の歴史的価値の高い作品53点を「フジフィルム・フォトコレクションII」として収集。多くの方々に鑑賞していただけるよう東京・大阪にて展示いたしました。もう一つは「写楽祭! 日本の写真集 1950~70年代」^{しやらくさい}です。本展では、富士写真フィルム株式会社(当時)が1960年代に刊行したPR誌『写楽祭』で特集された当時注目の写真集・写真家の作品を展示。写真史と共に歩んできた富士フィルムの軌跡を振り返りました。

若手写真家の活動を応援する写真展を開催

写真の新しい視点や表現をさらに豊かに発信する活動として、若手写真家応援プロジェクトの「写真家たちの新しい物語」^{*1}と「ポートフォリオレビュー」^{*2}/「アワード」も継続開催いたしました。若手写真家に写真展示の専門的な知識や作品の発表の場を継続的に提供することで、彼らの創造性を引き出すことが、写真表現の新たな可能性や幅広い世代の共感を呼び起こす写真の力の発信につながっています。

富士フィルムグループは創立90周年を機にグループパーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」を制定しました。フジフィルム スクエアは、これからも富士フィルムの祖業である写真を通じて、感動の瞬間や大切な思い出を形に残し、お客さまに笑顔を届け、地球上の笑顔の回数を増やしていきます。

*1 フジフィルム スクエアは2013年に、若手写真家が写真展を開催するための制作費などを支援する「写真家たちの新しい物語」を若手写真家応援プロジェクトの一つとして立ち上げ、2024年度までに計46回開催しています。

*2 ポートフォリオレビュー:作品講評会

90th
そして
その先の
未来へ
100



世界中の人々の笑顔を見つめてきた富士フィルムグループは、これからも幅広い事業領域で人々に寄り添い、従業員一人ひとりが「アスピレーション(志)」を持って、このグループパーパスの実現を目指すことで、地球上の笑顔の回数を増やしていきます。



・本データは2024年度の自社調査に基づくものです。

・2024年度とは2024年4月1日から2025年3月31日を指します。年末年始を除いた354日が2024年度の写真展開催期間です。

来館者数

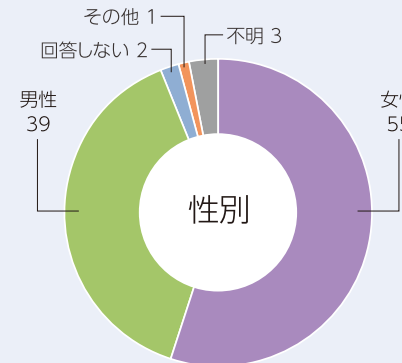
※年末年始を除く稼働日数354日の来館者

390,831人

1日平均

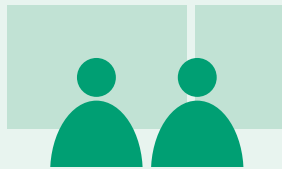
1,104人

来館者属性



写真展の開催回数

80本



■当社が主催・協力する企画展 38本

若手写真家応援プロジェクト8本、
写真歴史博物館の企画写真展5本、
当社が協力する写真展25本を含む、合計38本を開催。

■公募展 42本



〈企画展のDM・パンフレット例〉

ギャラリートーク・トークイベントなど、鑑賞サポート活動の参加人数

6,611人

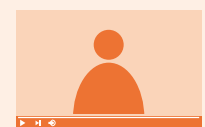
511回



Web公開動画

フジフィルム スクエア Webサイトで公開した動画本数。

23本



総再生回数

25,335回

写真と共に歩んだ90年の歴史と未来をつなぎ、多くの方々に笑顔を届けました。

富士フィルムが収集した、世界写真史に名を刻む写真家たちの作品を公開

富士フィルムグループ 創立90周年記念コレクション展
「フジフィルム・フォトコレクションIII」世界の20世紀写真「人を撮る」

富士フィルムホールディングスは、2024年1月に富士フィルムグループが創立90周年を迎えたことを記念して、20世紀の写真史に名を連ねる著名な海外写真家が「人を撮った」名作・傑作のオリジナルプリントを収集しました。そして2024年4月、極めて貴重なその全作品を、フジフィルム スクエアで初披露しました。

本展は、**近代写真の父と呼ばれるアルフレッド・スティーグリッツ、フォト・ジャーナリストとして活躍したW.ユージン・スマイス、ポートレートの巨匠ユーサフ・カーシュのほか、アウグスト・ザンダー、ウォーカー・エヴァンズなど、世界写真史を代表する20名の全53点を展示。**創業以来、写真文化の発展を支えてきた富士フィルムがその信頼のもとに、世界の名作・傑作を収集してその価値を守り、無償で公開することの意義は、広く共感を集めました。会期中の来館者は24,000人を超えるなど、極めて注目度の高い写真展となりました。





会期初日の内覧会ではメディア、写真家・写真団体、美術館関係者など約130人が出席

稀有な日本の写真集文化に再注目。往年の独創的な表現を現代に



富士フィルムグループ 創立90周年記念 企画展
写楽祭！— 日本の写真集 1950～70年代

本展は、**富士写真フィルム株式会社(当時)**が1960年代に刊行していたPR誌『写楽祭』で紹介された著名な写真家の写真集15冊と、同時代を語るには欠かせない写真集17冊の計32冊を、各作家の写真作品と合わせて一堂に展示した、『写真集』が主役の展覧会です。

高度経済成長期の日本では、カメラの普及や印刷技術の発展、才能ある写真家たちとデザイナーや編集者などの出会いが相まって、世界でも稀有な「写真集文化」が生まれました。フィルムやカメラを通じて写真文化を支えてきた富士フィルムグループは、写真集の印刷に使われる刷版などの資材も提供してきました。今回の展覧会は、写真と印刷の両方に携わってきた富士フィルムグループの創立90周年にふさわしい企画展となりました。



木村伊兵衛
左:「秋田おばこ 秋田・大曲」
1953年
右:「木村伊兵衛傑作写真集」
(朝日新聞社、1954)



SELF AND OTHERS
SHIGEO GOCHO

牛腸茂雄
左:<SELF AND OTHERS>より
1977年
右:「SELF AND OTHERS」
(白亜館、1977)

創立90周年を迎え、写真の文化と歴史を支えてきた富士フィルムならではの展示を実施

写真史を代表する巨匠の希少なオリジナルプリントを展示

アンセル・亚当ス作品展
「ポートフォリオIV:偉大なる啓示」

理論と技術に裏打ちされた究極的に美しい銀塩写真作品を多数制作し、写真の美術的価値を高めた20世紀写真の巨匠、アンセル・亚当ス。彼が遺した最高傑作の一つとされるのが、1963年に亚当ス自身がプリントまで制作し、260部限定で出版された作品集「ポートフォリオIV:偉大なる啓示」です。今回、富士フィルムが所蔵している大変希少価値の高い作品集を、富士フィルムグループ創立90周年の記念企画として展示しました。

亚当スが究極の写真表現を追求して生み出した、60年以上前のオリジナルプリントに触れた方々からの反響は大きく、写真が持つ表現の力を改めて体感いただくことができました。



190年を超える写真技術の変遷を、歴史的なカメラ・写真の展示や、写真事業に長年携わった元社員コンシェルジュの解説で紹介



写真歴史博物館

フジフィルム スクエアの「写真歴史博物館」では、写真の原点となった機材のレプリカや秘蔵のアンティークカメラ、富士フィルムの歴史に残るカメラなどを展示しています。



コンシェルジュツアー

富士フィルムで写真関連製品・サービスの研究、技術開発やサポートに長年携わった元社員がコンシェルジュとして写真展や展示物について分かりやすく解説。写真の歴史や進化について説明するツアーも行い、多くの方にご好評をいただいています。

日本とオランダ70年の文化交流の歴史を写真で回顧

日蘭協会70周年記念写真展
～ 会員たちが見た日蘭の物語 ～

日本とオランダ両国の友好親善関係の増進に寄与することを目的に、1912(大正元)年に発足した日蘭協会は、第二次世界大戦中の活動中止後、1954(昭和29)年に再発足して2024(令和6)年に70周年を迎えました。これを記念して、**両国の文化や友好の歴史を会員や一般の方々に知っていただきたいという、本協会の会長を務める富士フィルム 代表取締役社長・CEO 後藤禎一の思いから、本写真展を開催。**両国の文化交流の歴史を振り返りました。



写真と共に歩んだ90年の歴史と未来をつなぎ、多くの方々に笑顔を届けました。

多くの若手写真家にプロの写真家の講評を受ける機会を、
受賞者にはさらなる対話で作品を磨き、写真展を開催する機会を提供

【富士フィルムフォトサロン若手写真家応援プロジェクト】
ポートフォリオレビュー/アワード 2024

本展は、「若手写真家応援プロジェクト」の一環として、45歳以下の若手写真家の作品を公募して、プロの写真家の講評（レビュー）を受ける機会を提供し、さらに4名の受賞者に写真展開催へ向けた指導や作品制作費を支援する企画で、2024年度で3回目となります。



48名の作品をプロの写真家がレビューし、4名の受賞者を決定

書類・作品での一次選考を通過した48名に対し、プロの写真家4名がレビュー（講評する講師）としてオンラインで作品を講評。撮影や写真の選び方などのアドバイス提供後、アワード受賞者4名を選出しました。

4名の写真展開催に向け、プロの写真家が数カ月かけて指導

各受賞者をレビューが二人三脚で指導。写真展のコンセプトから作品構成、展示レイアウトや解説文・展示物の制作、銀写真プリントの色、表現などについて対話を重ね、受賞者は作品のオリジナリティを磨きました。

写真展開催・レビューとのギャラリートークを実施

受賞者4名は東京で3週間、大阪で2週間の写真展を開催。自らの作品や創作意図について語る「ギャラリートーク」やお客さまとの対話を通じて新たな創作への着想を得ていました。



新しい感性を持つ写真家の支援と、写真文化への若い世代の
興味喚起を目指したプロジェクトは、多彩な8企画を開催

【富士フィルムフォトサロン若手写真家応援プロジェクト】
「写真家たちの新しい物語」



©竹見脩吾

同じく「若手写真家応援プロジェクト」の一つである「写真家たちの新しい物語」は、2013年から毎年実施している企画です。45歳以下の写真家から作品を募集し、審査を通過した方々の写真展開催を全面的に支援するもので、2024年度は8名の個展を開催しました。

今年度は、スポーツにおける普段見られない多彩なシーンや、知床の流水の海、鮭が遡上する東北の川、熊野の山や森で見られる命の循環に、新鮮な感性で迫った写真展が注目されました。また、祭りに表れる日本の島々の“魂”や、インドの自由な日常を写し取った作品など、国内外の文化を独自の視点で捉えた写真展も開催。幅広い年代・国籍の方々に来館いただきました。



©茂野優太



©平井佑之介

個性豊かな新世代の写真表現を育むアワードや、
新たな写真ファンを生み出す体感型企画に挑戦

全世界から選ばれた精鋭クリエイターの創作の核心を、
大迫力の銀写真プリントやWebのメイキング動画で発信

GFX Challenge Grant Program 2023
～Make Your Next Great Image～



世界各地のクリエイターによる創作の支援と、作品を発表する場の提供を目的に富士フィルムが2021年から主催している助成金プログラム「GFX Challenge Grant Program」。3回目となった今回も、独創的な写真・映像作品15テーマがさまざまな国籍の外部審査員

5名により選出され、当社は制作活動の支援として、総額10万ドル相当の助成金の提供と「ラージフォーマット デジタルカメラシステム GFX」の無償貸与を行いました。

そして、写真家・ビデオグラファー・映画監督など、多彩な受賞者が半年をかけて完成させた作品を一堂に展示。**社会・文化・人間を深く掘り下げたり、音楽を組み合わせたりと、見る人に新たな視点を与える作品ばかりで、多くの来館者に高く評価されました。**



SDGsや自然の大切さを実感できる美しい写真と
楽しく学べるワークショップで、子どもたちを笑顔に！

夜空にかがやく星々の記憶
～星空写真の世界へようこそ！～



毎年夏にフジフィルム スクエアが取り組んでいる小・中学生の自由研究応援企画として、2024年は見て、学んで、楽しい星空の写真展を開催しました。天の川の大パノラマや、88星座の写真、宇宙望遠鏡が鮮明に捉えた星々などを、大迫力の銀写真プリントで展示。**解説パネルで基礎知識や最新の天文観測技術など専門的な情報を分かりやすく紹介。天体望遠鏡を手作りするワークショップや、富士フィルムの双眼鏡による星空観望会**も開催し、子どもたちは目を輝かせて楽しんでいました。



中村征夫写真展「海中顔面大博覧会」



子どもから大人まで生物や自然環境に関心を持つきっかけとしていただく企画の一つとして、水中写真の第一人者・中村征夫氏の「海中顔面大博覧会」を開催しました。半世紀にわたって世界各地の海に潜り捉え続けてきた**中村氏ならではの海中写真と、ギャラリートークや記念トークイベントを通じ、海の環境への深い気づきも得られる写真展になりました。**



「こころ彩るところ」

フジフィルム スクエアは、 写真文化を未来へと 絶えず、守り育み続けます。

富士フィルムグループは2024年1月20日に迎えた創立90周年を機に、グループ
パーパス「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」を制定しました。

富士フィルムは祖業である「イメージング事業」で感動の瞬間や大切な思い出を
形に残し、お客さまに笑顔を届けてきました。そしてこれからも新たな価値ある製品・
サービスを創出し続けることで、人々に新たな感動や体験を届けてまいります。

フジフィルム スクエアでは、写真展示というリアルなコミュニケーションの場とし
て、作品の新鮮な視点や独自の表現を通じて人々の感性に働きかけ、写真文化への
関心や理解を深め、心の豊かさ、人々のつながりを醸成するとともに、「地球上の笑顔
の回数を増やしていく。」ことに貢献していきます。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティの高いさまざまなジャンルの
写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを
表現した作品を厳選し、一週間単位で写真展を開催しております。公募については
Webサイトをご覧ください。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値
のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史
的進化をご覧いただける博物館です。190年を超える写真文化の変遷をぜひお楽し
みください。



タッチフジフィルム&イメージングサービスカウンター

「チェキTM」をはじめとする大人気instaxTMシリーズや富士フィルムのミラーレスデジ
タルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品のお試しや、購入がで
きます。また、修理受付や購入前のトライアルサービス[※]も提供いたします。そして、
スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントや、写真を使ったオリジナル
ギフト「PHOTO GOODS」などを展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。

※デジタルカメラや双眼鏡など



ASTALIFT 六本木 フジフィルム ヘルスケアショップ

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を応用した
富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。
化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受
けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM
Value from Innovation

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00~19:00 (入館は18:50まで)

無休(年末年始を除く) / 入館無料

※やむを得ず臨時休館する場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。



〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
TEL.03-6271-3350(10:00~18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン、写真歴史博物館、フジフィルム・フォトコレクション、若手写真家応援プロジェクトは、
2025年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2025」の認定を受けております。

